

目指す幼児・児童・生徒像

- ・他者の気持ちを理解し、思いやりの心をもった子ども
- ・向学心にあふれ、日々真剣に学習に取り組む子ども
- ・自分を大切にするとともに、他者の大切さを認めることのできる子ども
- ・授業・各種行事等、その瞬間（とき）を大切にしている子ども

赤坂アカデミーの特色

幼・小・中が1校ずつあります。令和4年度に新校舎が完成し、令和5年度より赤坂学園として小中一貫教育校がスタートしました。幼稚園も隣接しているため、子ども同士が顔を合わせる機会も多くあり、交流・連携がスムーズにできます。

アカデミー授業・保育見学

互いの授業や生活を教員が見学し合い、感想や質問を出し合い、幼小中の教育内容への相互理解を深める。

【教員間での感想】

～小学校参観より～ 6月16日～27日

- ・アサガオの「つる」についての感想をそれぞれの言葉や絵で表現していた。幼稚園でも遠足の絵など、実際に見たものを描く機会が多いため、つながりを感じた。
- ・次に行くことが明確に出されていたり、取り組む時間が黒板に掲示されていたりして目で見てわかるようになっていて学びやすいと思った。幼稚園でも絵本を読む際に絵本に集中できるような環境を整えているので、黒板もすっきりしていると分かりやすいのだと感じました。
- ・授業前後の挨拶がしっかりなされていた。また下校の準備もスムーズで、入学からの指導が積み重なっていることを感じた。

～中学校参観より～ 9月8日～19日

- ・服装については個別に声掛けをしている場面があり、基本的な生活習慣を身に付けさせる点は中学校でも大切にしているのだと感じた。
- ・学習ルーム（読み書き障害）に通っていた児童がいたため、様子を見させていただいた。小学校で支援することでどんなことを身に付けさせるべきなのか、改めて考えさせられた。昨年度より、自ら学ぶ姿勢が見られて安心した。

～幼稚園参観より～ 11月14日（研究発表会）

- ・幼稚園での経験が小中へとつながる。子ども達が自然と興味もてるような環境づくり、手立てができていた。子ども主体で学ぶことと、教員が主体となって教えることのバランスが重要だと思った。
- ・遊びの中でコミュニケーション能力を養っている様子が見られた。「～したい」という思いを引き出して学びに繋げることが大切だと感じた。そのために教員が意図的に学びの場を提供することが大切であり、教員が手を出しすぎると思考力が失われるので加減が必要であると思った。

教員が相互に指導のよさを学び合い、
連携しながら教育を展開していけるようにしています。



徳

赤坂を愛し
自分を大切に
人を思いやる
豊かな心を育む

知

学ぶ意欲を高め
基礎学力を定着させ
夢に向かって
努力する

体

自らすすんで
心身の健康保持
増進し、体力を
向上させる



中学校学習発表会



1年生の学習発表会を
幼児が見学



赤坂学園体育館での
幼稚園運動会



お餅つき大会



ICT を活用した授業



中学校側校庭での
小学校運動会



地域防災訓練（いも煮会）



ICTの活用・個別最適化
を意識した複線型授業



中学校側プールでの水遊び